

令和元年度畜産女性経営者育成強化事業 畜産女性サポート力強化研修会

畜産女性の経営参画に向けた 支援の取組み

令和元年8月8日

千葉科学大学大学院 教授 野村一正

◆なぜ「女性活躍推進」か？

多様な人材の積極的な活用
(ダイバーシティ)

ダイバーシティが注目されるわけ

- かつて日本は欧米で開発された商品・サービスのキャッチアップによって業績を伸ばしてきた**一画一的な商品・サービスの効率的な大量生産**
- しかしそれが終了すると、成熟した市場に対応するために生活者視点に立った新たな需要の掘り起こしが必要になった**多様なニーズへの対応**

そこで「現代は一つの価値観で物事を進めていくことではうまく働かない。様々な立場からの意見を取り入れ、モノづくりやコミュニケーションをする必要が出てきた。そのためには多様な思考の人々をチームに入れる必要がある」（「イー・ウーマン」の佐々木かをり社長）

これらの多様な違いを「互いに理解し」「認め」「受け入れ」「ビジネスに生かす」という、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の発想が必要になってきた。

ダイバーシティ・マネジメントのメリットは？

- 組織が多様化するに伴い、従業員をうまく統合する必要があるが、多様な人材の活用は**組織の意思疎通や問題解決を容易**にする。
- 女性や障がい者、多様な人種の人々が活躍することで**企業のイメージが向上**する
- 多様な人材による発想で**新たな価値ある商品・サービス**を生み出す。
- 多様な価値観を持つ従業員が意見を述べ合うことで、**よりレベルの高い問題解決策**を見出すことができる。
- 多様な人々が働く多文化な組織となり、**環境の変化に柔軟に対応**できるようになる。

企業経営におけるダイバーシティのメリット

多様な市場ニーズへの対応

- ・グローバル市場のメインプレーヤーである女性顧客※のニーズに応じた商品開発、販売戦略

※家計支出のうち、妻の意思決定割合は、我が国で約74%、世界では約64%。
(内閣府「男女の消費・貯蓄等の生活意識に関する調査」(2010年)、BCGの12000人超の女性に対するグローバル調査(2008年))

ダイバーシティ・ マネジメント

- ・多様な人材が持つ能力を最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげる経営。
- ・経済のグローバル化に伴い、その必要性が高まる。
- ・女性の活躍推進はそのイントロダクション(試金石)

リスク管理能力 (ガバナンス)や 変化に対する適 応能力の向上

「女性役員が1人以上いる企業は、能力の範囲拡大やガバナンス強化等により破綻確率を20%減らせる。」
(2008年英リーズ大 Credit Management Research Centre による17,000社を対象とした調査結果に基づく)

SRI(社会的責任投資)を通じた 長期・安定的な 資金調達

・欧州を中心に、SRI(社会的責任投資)のシェア拡大。
※SRI格付けにおいて、ダイバーシティ関連の評価項目は約1~2割との指摘も。

<SRI市場規模の国際比較>

欧州 49%、米国11.2%、日本0.2%

(出所)Global Sustainable Investment Alliance
2012 Global Sustainable Investment Review

優秀な人材の確保 (人材活用の母集団を 広げる)

I : 畜産女性の経営参画に 向けた課題について

◆ 平成27～29年度畜産経営における女子力発揮推進事業

• 実施の背景

畜産は他の農林水産業と比較して、女性の参画が進んでいる分野。

農業経営全体では6.7% 畜産経営では17.4%
(2015農業センサスより) (女子力発揮事業調査結果より)

知的労働の増加や6次産業化など畜産経営の多様化が進む中、
女性の経営参画が今まで以上に期待されている。

しかし、**労働負担や働きやすさは男性と比べて不利な点が多い。**

畜産女性の力を発揮させるための課題への対応や地域を牽引する新たな女性リーダーの育成等が必要。

• 事業の目指すところ

畜産女性が活躍し活気ある畜産の創造

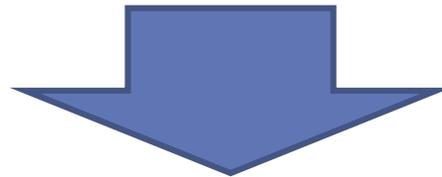
• 事業の内容

- 畜産女性を取り巻く課題への対応策の提言
(「畜産経営における女子力発揮の手引き」の作成)
- 地域女性リーダーの育成

◆ 平成27～29年度畜産経営における女子力発揮推進事業

● 見えてきた課題

- ・ 女性が経営内で指導的立場になる事が困難であるとの考えを経営者の多くが持っている。
- ・ 女性が経営の中核的な役割や経営の立案企画への関与が少ない。



- 畜産女性の活躍には、経営内外からの後押しが重要な役割を担っていることを、提言。

◆平成30年度～令和2年度畜産女性経営者育成強化事業

●課題解決に向けた取組み

- ①女性自身が経営者としての能力を高めるための育成支援。
- ②女性の能力発揮に向けた周囲の意識改革。
- ③畜産女性の経営参画を後押しする経営外部からのサポート力強化に向けた取組み。

Ⅱ：女性経営者の経営参画に向けた支援について

◆女性が経営に参画することのメリット(1/2)

✓ 消費者目線を持っている。

➡ 商品づくり・販売戦略が消費者に受け入れやすくなる。

✓ 家畜への接し方が丁寧である。

➡ 家畜をより健康的に育てることができる。

✓ 畜舎等の清掃が隅々まで行き届く。

➡ 畜舎等の衛生管理の徹底。

✓ 施設・機械の取り扱いが丁寧である。

➡ 施設・機械の修繕に係るコストの低減。

◆女性が経営に参画することのメリット(1/2)

- ✓ より注意深く資金管理をする。
➡ 収益性の向上に貢献できる。

- ✓ コミュニケーション能力が高い。
➡ 従業員とのこまめなコミュニケーションにより、従業員のモチベーションの維持や向上を引き出し、優秀な人材の安定的な確保に繋がる。

◆経営参画に向けた取組み

①女性経営者の育成支援

畜産経営支援組織が行う研修会や経営者間の連携強化のための情報交換会等の取組みを支援する。

②女性グループの活動支援

仲間同士の相互研鑽や経営能力向上を図るための取組みを支援する。

③周囲の意識改革と経営外部からのサポート力強化に向けた取組み

経営者、支援組織等を対象に、女性の能力発揮に向けた意識改革と経営外部から女性の経営参画を後押しするためのサポート力強化のための研修会の実施と情報提供を行う。

◆ 経営参画に向けた各県の取組み (1/3)



15県で女性経営者の育成に向けた取組み
スタート

◆経営参画に向けた各県の取組み（2/3）

- **マーケティングや経営戦略**を学ぶ研修など、若手畜産女性の知識や経験を拡大。
- **ブランド力強化**につながるような商品企画の研修や、農業高校生を対象に食育に関する**出前授業**を行うなど、実践を通じて積極的に生産物や経営をPRする力を身に付けた。
- 食肉市場にて牛肉枝肉取引状況を見学し、県産ブランド「にいがた和牛」の**流通のしくみ**について学んだ。

◆経営参画に向けた各県の取組み（3/3）

- 時間の有効活用や思考整理術について学ぶ「**マインドマップ**」研修会を開催し、家庭と仕事との両立や労務管理に役立てた。
- 経理の知識を広げるため、納税制度や確定申告について学ぶ**青色申告の研修会**を開催。
- 各県、県外の女性経営者との**情報交換会**を開催し、人脈を広げるとともに、他地域の経営事例を聞くことで自身の経営に役立つようなヒントを得るなど、経営者としての幅を広げることができた。

◆女性グループの活動支援（1/2）



9グループの活動を支援

◆女性グループの活動支援（2/2）

- 各グループが、会場借料や資料印刷代等の助成費を活用して活動計画づくりのための**検討会**を開催し活動強化を図った。
- 女性が活躍している農家の**活動紹介や意見交換会**を開催し、中央畜産会から女性酪農家を講師として派遣した。
- **会員募集パンフレット**を作成し、グループの活性化と会員同士の交流を図った。

◆サポート力強化に向けた取組み（1/2）

○平成30年度畜産女性サポート力研修会

目的：畜産女性の経営参画を後押しするために、経営支援組織の役割や期待されることについて、参加者と一緒に考え共有する。

（平成30年12月に広島県と東京都にて開催。）

実施内容：①畜産女性の活動をサポートする経営支援組織の取組みについて
講演

②パネルディスカッション（畜産女性の活躍・経営参画と経営内外のサポートについて皆で考える）

参集者：畜産女性、畜産経営者、経営支援組織

○令和年度畜産女性サポート力研修会

目的：経営内での男性の意識改革に重点をおいて研修会を実施する。

実施内容：女性が活躍できる環境作りに取り組み、女性が経営に携わることで経営改善や売上向上に繋がった事例について講演。

参集者：畜産男性を中心とした生産者、経営支援組織、畜産女性（若い世代の女性が経営内外のサポートに求めることをキャッチするために畜産女性も参集対象）

○情報発信

研修会の内容は、ホームページに掲載して広く情報提供する。

◆サポート力強化に向けた取組み（2/2）

○女性の経営参画に向けて必要な支援とは

- 押しつけでない支援
- 女性が研修会等に参加しやすい環境づくり
（きっかけとして、ベビーシッター代やヘルパー代の補助）
- 意見を出しやすい職場環境づくり
- 研修会等の開催案内を経営主にも送る
- 女性経営者の育成（キャリアアップ）の支援

Ⅲ：全国への普及について

◆全国シンポジウムの開催

○目的

全国域での畜産女性の連携強化、畜産女性に対するサポート力の強化を図るため、活躍する女性の活動を情報発信し、女性、男性がともに活躍できる畜産経営についてディスカッションする。

○参集者

畜産経営の女性経営者や畜産男性、行政・畜産関係団体等の畜産経営支援組織

○開催日時・場所

令和元年8月22日（木） 13：00～17：30

TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール6A

○開催テーマ

女（ひと）と男（ひと）ですすむ経営参画

～ともに歩み出そう、新しい時代へ～